

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.371 2018.7.13 連絡先 402-1622 >

日本共産党市会議員団団長は以下のことがらについて表明しました。

和歌山市の産廃事業者（山口地区滝畑）への 「拒否決定通知書」に対する団長表明

日本共産党和歌山市会議員団 団長 森下佐知子

和歌山市は7月5日、(株)フォーシーズン・ファクトリーに対して、行政手続法第7条（申請に対する審査、応答）の規定に基づき、許可を拒否する「拒否決定通知書」を発送しました。

これは、今年3月22日付で事業者が和歌山市に「産業廃棄物処理施設設置許可申請書」を提出したことに対して、申請書が申請の形式上の要件に適合しておらず、市が期限を定めて事業者に補正を求めていたところ、事業者から期限内に補正された申請書が提出されなかったことによるもので、市の対応は当然のことです。

また、それは計画が明らかになって以来、山口地区滝畑の住民のみなさんをはじめ、山口連合自治会、関係者の方々が粘り強く反対運動をされてきたことによるものです。

これまでに「紛争予防条例」にもとづく市のたび重なる指導にも従わず、許可申請書を提出し、さらに許可申請書に対する市からの補正にも従わない事業者の姿勢や態度は極めて不誠実であり、専門家からの建設計画地が地形・地質的にも産廃処理施設建設用地として不適地であるとの指摘に対しても適格な回答がされず、地元住民の不安の声にも誠意ある回答がないなど、これまでの経緯を勘案すれば事業者は事業からすみやかに撤退すべきです。

上記の理由により、和歌山市は、山口地区滝畑への(株)フォーシーズン・ファクトリーの「産業廃棄物処理施設設置許可申請」は「不許可」処分とすべきです。

日本共産党市会議員団は、地元自治会をはじめ関係者のみなさんと今後も引き続き力を合わせて、計画が白紙撤回されるまで力を尽くす決意を改めて表明するものです。

みち子のひとりごと 西日本豪雨

2018年7月豪雨は、岡山・広島・愛媛などに大きな爪痕を残し、今さらながら自然の脅威を見せつけました。泥で埋まった被災地の状況がテレビに映し出されるたびに、心が痛みます。

「数十年に一度」の非常に危険な状況で「特別警報」となるのですが、日本はすでに、いつどこで「特別警報」がでてもおかしくない状況といえるのではないのでしょうか。

今回、市内でもがけ崩れや床上浸水などがありました。幸いにも命に関わる事はありませんでしたが、木曜の夜のように雨がずっと降り続いていたらどうなっていたでしょう。

市は、最悪の事態を想定してできる限りの対策をとらねばなりません。また一人ひとりも、いざという時どういう行動をとるのか判断しなければなりません。

台風による大雨のシーズンはこれから。明日は我が身。もしそうになったらどうするかを考えてみませんか。



こんにちは

井本ゆい子です



7月6日、7日の豪雨で、広島や岡山ほどではなかったものの、和歌山市でも各地で浸水被害や土砂崩れが起きました。

私の家の近くでは、道路と用水路の境目がわからず、片輪を落としている車を2台見ました。下和佐では宮井川が道路にあふれてきて、通行止めになっていました。加納でも道路が水につかって車の通行が困難な場所がありました。

ここ数年、毎年のように日本のどこかで記録的豪雨がおこります。和歌山市でいつおこっても不思議ではありません。

自然の猛威は時として驚くほどのパワーを見せつけます。しっかりと対策をしておいてやりすぎることはないと思います。ミサイル迎撃システムなど導入している場合ではないですよ、アベさん。

ブロック塀等の倒壊防止の対応について

住宅政策課

民有のブロック塀への対応
～補助制度の拡充～

道路に面した民有のブロック塀の撤去を促進するため、現行補助制度を拡充します。

制度拡充の概要

①補助上限額

10万円→40万円 (㊦又は㊦+㊧)

②補助単価

1 m当たり1万円の1/2→1万5千円の9/10 (㊦㊧のそれぞれ)

《補助制度の内容》

塀の種類 建築基準法上に規定する道路に面する塀で、補強コンクリートブロック造、石造、れんが造その他これらに類する作りの塀

対象事業 塀の撤去及び新設

補助額 ㊦「撤去費」又は「対象の塀を撤去する長さ(m)×1万5千円」のうち、いずれか少ない額の9/10

㊧「新設費」又は「軽量の塀を新設する長さ(m)×1万5千円」のうち、いずれか少ない額の9/10

注) 建築基準法第42条第2項に規定する道路(いわゆる、狭あい道路)面しており、㊧の耐震対策を行う場合は建築指導課において事前協議が必要です。

募集開始日 平成30年7月17日から
※平成32年度までの3年間限定の制度

床上浸水の場合、見舞金の支給、税金等の減免の制度があります。制度を利用するためには「り災証明書」が必要です。「り災証明書」は総合防災課(073-435-1199)で発行します。お問い合わせください。

日時 2018年7月28日(土) 10時～17時(20日は15時まで)

会場 プラザホール
和歌山市北山町1丁目1-47
和歌山県立文化センター1F

講演 ▶ 7/28(土) 4Fホール
14:00～16:00
13:30～「オープニング」生協コースあり

国際地政研究所理事長・元内閣官房副長官補
柳澤 協二氏
「戦争危機の時に考える平和の道筋」

入場無料

展示 ▶ 2Fギャラリー
中学生のための「慰安婦」展
●その他のパネル展示
「大逆事件(新宮グループ)」「第5福丸」「満蒙開拓団」「友力島の戦跡(戦争末期)」「和歌山大空襲」など

市民参加企画
▶ 29日(日)10:00～12:30 2F多目的室
●朗読「つくしんぼ」
●詩(原簿詩集から)朗読・紀州民謡「アラオの会」
●語り部「私の戦争体験(和歌山大空襲など)」

ピースライブ ▶ 7/28(土) 4Fホール
10:30～13:00
出演:北野亮/SEIZY/藍田真一/TOY-BOX

学生たちのブース
▶ 28日(土)10:00～13:00 2F多目的室
「4つのテーマで戦争について発表します!」

みなさんへのお問い合わせ先
●戦争中の貴重な記録を公開します。
●資料館にご協力ください。1口500円/名 団体5口3000円/名

【主催・お問い合わせ先】 2018 平和のための戦争展わかやま実行委員会 和歌山市小松道3-20 和歌山県内 TEL/FAX 073-489-3095
【後援】 和歌山県和歌山市、毎日新聞和歌山支局、ニュース和歌山株式会社、株式会社和歌山/シンジケート、株式会社わかやま新聞社、和歌山県和歌山市